

# 「禁止条約参加署名」推進ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031 2023年  
FAX:03 - 5842 - 6033 E メール：antiatom55@hotmail.com 10月30日

## 署名を集めてNYへ！～TPNW 第2回締約国会議参加者の決意～

11月27日から12月1日までニューヨークの国連本部で開催される核兵器禁止条約第2回締約国会議・日本原水協代表団に参加する皆さんから、決意を寄せてもらいました。

かつてNPT関係でニューヨークで被爆の実相を証言する被爆者の方々にアテンドする機会がありました。

初めて聞いた被爆の実相は想像以上に悲惨でした。また、NPT会議を傍聴した際、聞こえてきたのは「核の平和的利用」、「核の効



果的な使い方」に関する言葉で啞然とし、私たち日本人の「核兵器廃絶」への願いと、諸外国の核に関する考え方にはかなりの温度差があることを感じました。

大学でのパネルディスカッションでは、多くの米国人が「日本の安全は米国が提供している」と捉えていることも知りました。まさに百聞は一見に如かずです。

以来、私は毎年、高校で担当クラスの生徒達にこの事を伝えています。

NPTとは違い、今回は「核兵器禁止条約」についての第2回締約国会議です。「核兵器廃絶」について各国間で実り多い話し合いがおこなわれ日本政府も是非、加わる事を願います。また、新たに耳にしたことを日本の未来を担う高校生、多くの方々に伝えて行く所存です。

長澤幸子（県立高等学校講師）

私の父が40年以上うたごえ運動をつづけており、私は赤ん坊の頃からうたごえのなかで育ちました。父と一緒に歌いたいと思い、高校を卒業後、函館トロイカ合唱団に入団しました。

「うたごえは平和の力」を合言葉に原発反対や労働の歌、反戦歌などを歌って20年以上になります。結婚して娘が生まれ、子どもの未来を考えるようになりました。

戦争のニュースが流れると、「世界中みんなが仲良くしたら良いのにね」と娘は言います。通学時間にミサイル発射のアラートが鳴り、自宅待機をしたこともありました。落ちたらどうなるのだろうととても、不安でした。戦争のない、核兵器のない、平和な世界を強く求めます。安心して暮らしていける平和な世のなかになるようお願い、ニューヨークへ行ってきます。

小久保 木綿子（函館トロイカ合唱団）



## 国連軍縮週間を署名の全国行動に～各地のとりくみ～

国連軍縮週間中の初日、10月24日にJR和歌山駅頭で「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を」と呼びかける署名宣伝行動にとりくみました。

中東では、イスラエルのガザへの地上侵攻で多くの民間人の犠牲者が生まれています。日本原水協の「暴力の連鎖をやめ、パレスチナ問題解決を！」のチラシを配布し、イスラエルとパレスチナの暴力の連鎖をやめさせよう！日本政府も外交努力で中東での平和の努力をおこなうべきと駅頭の人達に訴えました。駅頭へは、「原爆と人間」の写真、高校生の描いた原爆の絵を展示しました。通行する人たちは、少し立ち止まって高校生の描いた絵を見て行きます。



最近、宣伝行動への参加が弱くなっていたので、マスコミへの取材の要請と各団体への要請を強めました。参加は9人でしたが、マスコミが取材に来てくれました。和高教、和教組、市教組、市民生協、原水協のメンバーがマイクを握り、アピールをするなか、署名のために足を止める方も結構多く、34人分の署名が集まりました。最後に「これで宣伝を終わりますが、いまなら署名は間に合います」と言うと、ある女性の方は立ち止まり署名してくれました。

次回は、年が明けて、成人式会場前で宣伝行動をおこないます。

（和歌山県原水協事務局長・里崎 正）